

小規模集落元気作戦

豊岡市但東町

薬王寺 yakuōji

薬王寺元気だよりNO.11

平成22年2月10日発行

薬王寺のむらづくりを考えましょう！ 第9回 ワークショップを開催します

一昨年からはじめた「薬王寺小規模集落元気作戦」は今年で3年目となります。これからも元気な薬王寺のためにみなさんのご協力をおねがいいたします。

久しぶりですが、「第9回薬王寺ワークショップ」を開催します。

昨年10月6日以来のワークショップとなります。これまでの経過を振り返りながら今後の進め方を話し合います。これまで参加いただけていない方も「元気な薬王寺づくり」のためにご参加いただきますようご案内いたします。



2月15日(月)
19:30~
薬王寺公民館



「薬王寺の新そばの味は格別」「うん。おいしいよ」

昨年11月14日に行いました「薬王寺農村体験交流会」の写真です。薬王寺に駆けつけていただいた都会の人たちに感謝。今後のおつきあいをよろしく願っています。



「ボクもそば打ち名人だー」

プロジェクトの具体的な取り組み方法を検討します。


平成22年2月15日(月)

19:30～薬王寺公民館




昨年9月2日の薬王寺ワークショップの様子

(1) 休耕田を活用した体験農園プロジェクト (農林再生プロジェクト)

誰がするのか(Who)	何をするのか(What)
<ul style="list-style-type: none"> 有志グループ (定年者・土日は可能な人が協力する。) リーダーをつくる 行政は何を… 都会の人は… 	<ul style="list-style-type: none"> 苗はJAか個人で調達。10aで3人ぐらい必要(手植えは都市住民10人必要) 役割分担(会計など) 日当は3,000円ぐらい(しろかき、田植、草刈、稲刈、もみすり) ⇒都会の人参加 オオサンショウウオ米 → オーナー制度 参加料(年会費)+収穫10万円 田んぼの提供(畑7a、8a=サツマイモ、ジャガイモ、市民農園、自由作物) 市民農園は、都会の人に好きな作物を作ってもらう 都市住民主体、地元は協力 ⇒ 収穫祭の開催(大人数で盛り上げ) 募集情報の広報 年会費を支払う・収穫物は持って帰る(米・野菜)・来る回数は任意
どこで行うか(Where)	場所は薬王寺の上流の方がアピールできる。立石(30a)、笛ヶ岡(20a)、出尾(15a)
誰がするのか(Who)	どのように行うのか(How to do)
<ul style="list-style-type: none"> 区民の実行委員会組織をつくる 班分け、枝分け、日常管理指導者 都市部の参加希望者 	<ul style="list-style-type: none"> 参加希望者を募集し、人数を把握する(都会の方、Tioクラブなど) 会費の算出(肥料、苗、農薬等) 耕作面積の振り分け(一部手作業) 参加者の定期的作業、地元区民の応援で管理を行う。できれば少人数で ホームページで募集 Tioクラブ 企業・団体及びサークル

(2) 川の再生プロジェクト 里山再生プロジェクト、農地・里山再生プロジェクト

→魚の棲む川づくり。川沿いに桜並木。立木の伐採による人の近づける川づくり。

誰がするのか(Who)	何をするのか(What)
<ul style="list-style-type: none"> このグループのメンバー 専門家に協力依頼 区民と交流メンバーの協力を依頼 村の釣り名人 女性グループ 行政による河川復旧 	<ul style="list-style-type: none"> 久谷川の整備(事前調査必要、両岸の草刈り) ゴトミソ稚魚の確保(出尾の望海水槽?) 放流(久谷川の上流に…) ゴトミソ情報のゲット ゴトミソの復活+ホタル ゴトミソ釣り大会 ゴトミソ料理の研究 岩谷川・西谷川の整備(ゴトミソの住める川に…) 
どこで行うか(Where)	何をするのか(What)
<ul style="list-style-type: none"> ①西谷川、久谷川、岩谷川 ②西谷、江笠山の頂上 ③西谷、赤花線 	<ul style="list-style-type: none"> 魚の住める川に 江笠山の整備、頂上整備 サクラの木の手入れ
誰がするのか(Who)	どのように行うのか(How to do)
<ul style="list-style-type: none"> 区民と交流メンバーの協力を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 川の整備(久谷川、岩谷川、西谷川) ゴトミソ+ホタル⇒稚魚の確保⇒河床の復活⇒ゴトミソ釣り大会⇒料理 江笠山からの見晴らしを良くする

(3)むらの特産・味の開発プロジェクト

空き家、古民家、集会所等活用型 活性化拠点創造プロジェクト

→野菜等の地域産自然資源を使った各種加工品。

→空き家活用。トレーラーハウスの受入れ及び設置。

誰がするのか(Who)	何をするのか(What)
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(数人)*合意がとりやすい人数 ・薬王寺の女性・高齢者 ・薬王寺区 ・都市グループ(Tio クラブなど) 新聞社、県、市 ・旬の里「のぼりお」 ・農家、生産者 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・トレーラーハウスを管理・企画・PR <ul style="list-style-type: none"> ○交流の宿泊場所に！※食事は提供しない <ul style="list-style-type: none"> ●真っ暗で音がない田舎体験、鹿の鳴き声 ○必要な届け出 ○特産品の提供に！ <ul style="list-style-type: none"> ●週に2日程度、軽食、こだわり品 ・区の詳細が必要 ・PR (マスコミ、ブログ、ホームページ、口コミで魅力発信) ・立ち寄った人のおみやげ物、食材の提供、道案内、PR <ul style="list-style-type: none"> ⇒定期的に宅配業務→「薬王寺米」 ・薬王寺産の米、野菜、山菜などを都市住民へ宅配で届ける⇒薬王寺ブランド
<p>どこで行うか(Where)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①休耕田等を活用して野菜などを作る ②販売は旬の里、ネット販売、都市部出張販売 ③泊まれるところ(2~3人可) <ul style="list-style-type: none"> (1)古民家で作って古民家で食す 宮内か出尾 (2)トレーラーハウス 出尾 (3)薬王寺公民館、中村集会所、久谷集会所 	<p>何をするのか(What)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モロコ、野ふき、竹炭、わらび、ぜんまい、野菜各種、果樹各種、黒豆(枝豆)、こごみ、各種シフォンケーキ(コシヒカリの米使用)、鹿猪肉料理、生しいたけ、コンニャク、さんしょ、よもぎ餅 (1)そのまま出荷できる野菜を 地域あげて(ふき、枝豆など) (2)シーズンの野菜、特定の顧客、トラック販売 <ul style="list-style-type: none"> 春(山菜、よもぎ)⇒夏(野菜トマト・スイカ)⇒秋(野菜)⇒冬(野菜) (3)薬王寺産品を使ったシフォンケーキなどのスイーツ ・宿泊の受入と特産品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ※誰でもはダメ。ターゲットを絞る。
<p>誰がするのか(Who)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民のグループ、得意な分野で管理、斡旋、許可 	<p>どのように行うのか(How to do)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループで取り組む ・何か作れて、何がつれるのかの研究 ・宿泊者は区が認めた者(交流のある人や行政等から紹介された人) ・古民家でもお茶が飲めるところを整備して、いつでも誰でも来れる場所に <ul style="list-style-type: none"> ⇒薬王寺の情報が集まる場所



2月15日(月)のワークショップでは、昨年9月2日の検討内容(上記3プロジェクト)を具体的に行動するために話し合いを行います。

(1)休耕田を活用した体験農園プロジェクト

昨秋、薬王寺農村体験交流の実体験がヒント、検証となります。今年も取り組みたいですね。

(2)川の再生プロジェクト

「ゴトミソ」により農地、里山再生に取り組めます。

(3)むらの特産・味の開発プロジェクト

空き家や古民家を活用した活性化拠点創造プロジェクトに取り組めます。

これらのプロジェクトをどのように企画し、実践していくのか。これからが本番です。

芦屋三条コミスク雪まつりに参加します

2月11日(祝)

2月11日(祝)、「芦屋市三条コミスク地域自主防災会議総合訓練雪まつり」に参加します。このイベントは、芦屋から但東シルクロード観光協会に依頼があり、10トンダンプで雪を但東町から運び込み、芦屋の子どもたちに喜んでいただこうと始まりました。

今年は、芦屋のイベントや市民フォーラムに参加している薬王寺に観光協会から参加依頼があり、出店することとなりました。

薬王寺の野菜や加工品を販売してきます。



昨年の雪まつりの様子です。



兵庫県小規模集落元気作戦

「元気交流会」に参加します。 3月14日(日)



平成20年11月の「元気交流会」の写真。中央は井戸知事

県が展開する「小規模集落元気作戦」。「交流」をキーワードに都市部と農村部との交流・連携により集落の元気アップを図る取り組みです。

現在、県下26の集落が元気作戦を行っています。これらの集落が参加して集落との交流、田舎暮らし、自然体験などを話し合う「元気交流会」に参加します。

- ◆とき 3月14日(日)13:00～
- ◆ところ 兵庫県公館(神戸)
- ◆内容 パネル展示、特産品販売
意見交換会
- ◆参加集落
薬王寺・三原(豊岡市)
実山・熊波・高坂(香美町)
海上(新温泉町)
馬瀬(養父市)
長野・与布土・上八代・黒川
(朝来市)
山寄上(多可町)
福田(丹波市)
丸山・大芋(篠山市)
大川原(神河町)
豊福・金子(佐用町)
行頭(上郡町)
仁井・生田(淡路市)

インターネットでご覧ください

兵庫県小規模集落元気作戦ホームページ

<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/hyogov/portal.index>

兵庫県小規模集落元気日記

<http://www.hnpo.comsapo.net/weblog/myblog/583>

ブログ江笠山ブログ <http://egasa.blog10.fc2.com/>

高橋振興対策協議会ブログ

http://blogs.yahoo.co.jp/frontier_fy

